

事例No.48 デジタルサイネージによる商工事業者の紹介

農業・林業
漁業

事業所名 企業名	鈴鹿商工会議所 公式ホームページ：http://www.scci.or.jp/				
所在地	鈴鹿市	従業員数	24名	産業分類	その他

建設業

【事例の詳細】

機能	商工事業者の紹介	使用 機器等	デジタルサイネージ
取組 内容	<p>鈴鹿商工会議所では、2009年4月に市内商工事業者の情報発信のために「デジタル・ショーケース事業」を立ち上げました。</p> <p>当商工会議所や市役所をはじめとした市内各所やイベント会場にディスプレイを設置し、市民やビジネス来訪者、観光客の皆様幅広く企業情報を発信しています。また、これらの情報は「企業情報データベース」としてホームページでも公開しており、いずれも検索機能を設けています。情報発信している商工事業者は、各自の紹介ページを自身で更新することができ、最新の情報をすぐに発信することができます。</p>		
導入 プロセス	<p>当商工会議所のエントランスを改装することになり、市民と会議所会員双方の役に立つことができる改装にしたいと考え、会員の事業所の方々からアイデアを募りました。その中から有限会社マイドソフト社(http://www.maido.co.jp/)の森通人社長のアイデアである本事業を進めることになりました。</p> <p>利用者と情報発信者の利便性や利益を考えつつ、「デジタル・ショーケース」の設置場所に応じて、発信する情報を変更するなどの工夫が必要でした。また機器の故障対応やメンテナンスも必要ですが、企画設計からシステム開発、設置までお世話になったマイドソフト社に協力いただき、現在も事業を継続しております。</p>	<p>検索機能も備えた「デジタル・ショーケース」</p> <p>【関連ホームページURL】 http://scci.or.jp/sdsc/index.html</p>	<p>「企業情報データベース」とも連動</p>
成果 効果	<p>ホームページなど知りたいと思ってアクセスするプル型メディアに対して「デジタル・ショーケース」は、自然に目に飛び込んでくるプッシュ型メディアです。それぞれのメディアの情報の受信・発信の利点を活かしつつ、情報通信の特性を活用した検索機能や、リアルタイムでのセルフ情報更新などの機能が、利用者と商工事業者の利便性につながっていると考えています。</p>		

製造業

情報通信業

運輸業・郵便業

卸売業・小売業

金融業・保険業

飲食サービス業
宿泊業

生活関連サービス業
娯楽業

【取組みの狙い】

企業ブランドの強化	品質向上	従業員の成長サポート
独自性・独創性の創造・強化	付加価値の創造・強化	労働環境の改善
商圏・販売チャネル・新規顧客の拡大・開拓	生産・業務効率の向上	勤怠管理の効率化
顧客満足度の向上	生産・業務プロセスの改善	その他
価値・品質の見える化	情報管理の効率化	

医療・福祉

その他